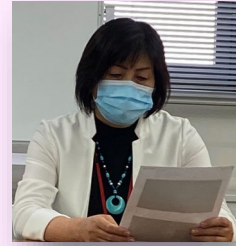


看護をつなぐ力は、見て、聞いて、伝えてを実践！



医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
看護部統括部長 蒲田 史様

地域包括ケアシステム



『在宅部門との連携について大切に感じていること』

入院から退院迄を関わる看護師として、いろんな背景がありますが、これまでの人生の中で自分自身が体験した成功事例や或いは訪問看護師として関わった事等、患者さん自身にとって、ご家族にとって、どこに棲家としていくのがいいのかを一番に考え優先順位を間違えないことだと思います。
自分が患者だったら、自分の親だったらどうしてほしいのかを考えしっかりと今の状況を伝えるためコミュニケーションを図り信頼関係を構築する。

事例

- ・患者：〇〇歳 女性 20××. 自宅より発熱にて救急搬入 入院
- ・入院前：糖尿病の血糖コントロール不良 要支援2 トイレ、身の回りのことはできていた 意思疎通可能 次女家族と同居中
- ・胆管炎 絶食 一時的にCV挿入 高カロリー輸液 栄養状態確保 胆管炎治療終了し 食事開始
- ・その後誤嚥性肺炎を発症 再度絶食、治療
- ・肺炎改善し自宅退院に向け回復期リハビリテーション病棟へ転棟
- ・中等度の嚥下障害があり、ST介入嚥下訓練開始
- ・転棟後、廃用症候群の進行により起立時の血圧低下、離床時の疲労感強くリハビリが進まず 食事時間の短縮、介助で食事摂取とリハビリでは、端坐位保持から進め少しずつ離床時間を進める。入棟時カンファレンスでは家族が車いすに自力で移動、トイレ迄の排泄ができる事を希望され目標とし1ヶ月のリハビリ
- ・急性期病棟での長期臥床期間が長かったため食事摂取が進まず、体重減少、食事量のムラ
- ・自宅での介護難しい 本人は帰宅願望
- ・コロナ禍の中、病院は患者 家族との面会禁止 家族は本人の意向を尊重

- ・個室使用し家族指導
- ・おむつ交換 血糖測定 インスリン指導 ミキサー食の管理方法 ポジショニング セラピストと協力 (1週)
- ・自宅退院後に往診医 訪問看護の導入
- ・退院前カンファレンス
- ・家族、往診医、訪問看護師、CM、自院の医師、看護師、MSW、セラピスト、指導内容、現在必要な処置等
- ・血糖コントロール不良にて毎日訪問看護に介入 食事量
- ・12月5日 退院
- ・12月9日 往診医より連絡
- ・12月15日 次女さんより病棟へ連絡
- ※退院当日、自宅に到着 ベッドに横になった時、「あーやっと 帰れた」
好物のマグロのにぎり2巻摂取 満面の笑み
- ◆退院支援を行う上で重要な事 (患者本人がどのような暮らしを望んでいるのか、家族にとって本人にとって終の棲家は！
入院された瞬間から退院支援が始まる

愛仁会リハビリテーション病院 看護部長
府北支部理事 森田 真由美



平素より大阪府看護協会府北支部の活動にご協力いただき感謝申し上げます。さて、府北支部における地域連携は府内でも円滑に推進できていると自負しております。しかしながら2040年に向けて、さらに地域包括ケアの充実推進をしていかねばなりません。施設紹介を契機により一層の連携強化にご協力をよろしく願いたします。

大阪医科薬科大学 訪問看護ステーション 所長
地域包括ケア委員 林 佳美



府北支部施設代表者会では、地域の特性や資源を理解するために、教育機関、保健医療機関、介護施設、在宅サービスなど、各施設機能や取り組みを紹介しています。また、施設間の連携事例を通じて、地域での連携課題について意見交換を行うことで、地域包括ケアの充実を目指しています。7月はみどりヶ丘病院の蒲田看護部長に病院概要の説明と好事例の発表をお願いしました。病院から在宅への連携事例では、コロナ禍で面会制限がある中、退院支援で「患者本人がどのような暮らしを望んでいるのか」ACP支援を実践し、在宅サービスに連携することで、住み慣れた自宅に退院が実現できたという好事例をご発表して頂きました。

編集後記 府北支部書記 青野 裕子

会員の皆さまいつも会議や研修にご参加いただき誠にありがとうございます。
みどりヶ丘病院様の概要や退院支援の取り組み等いかがでしたか？今年度も府北支部では、施設間の顔の見える関係づくり、病院・施設・在宅との連携強化、ACPによる意思決定支援の充実等、積極的に取り組んでいきます。ご協力の程よろしく願いたします。

次回研修会：看看連携研修

10月21日(土)15時～16時予定

研修担当施設 (府北役員)

済生会茨木病院
高槻病院
第一東和会病院
和朗園



研修での課題

- ①看護を繋げる力は、病気だけに注視するのではなく生活者として患者をみる！
在宅現場が何を求めているかを考える！ サマリーの工夫！
- ②ケースカンファレンスの参加から考える力・連携力を身につけていく！